

5 歴史をたどる旧街道

約 距離 4.5 km
約 時間 90 分
約 高低差 5 m



見どころ

滑川市の旧街道を巡るコースです。
滑川市指定文化財の一里塚、樹齢200年の門松や明治天皇追分小休所石碑を観ることができ、天気が良ければコース途中で能登半島まで展望できます。

ワンポイント

道幅が狭い区間があるので一列で歩行するなど車両に十分注意しましょう。

のる my car 時刻表 (滑川市コミュニティバス) H28.6.1 改正

🚗 北部循環ルート (※1 便は平日のみ運行)

乗り場	1 便	2 便	3 便	4 便
滑川駅前	7:50	10:25	13:10	15:45
三ヶ公民館前	8:19	10:54	13:39	16:14
ほたるいかミュージアム前	8:27	11:02	13:47	16:22

おすすめ

- ◆一里塚
一里塚は街道の両側に1里(約4km)ごとの目印として中央に樹木を植えた円丘状の土盛りのことで、幕府が慶長9年(1604)に江戸日本橋を起点として、全国に普及させました。北陸街道では江戸時代前期に23基築かれ、滑川市坪川に残る塚もその一つです。県内において江戸時代初期から残る一里塚は、坪川、境(朝日町)、東水橋(富山市)の3ヶ所だけです。
- ◆門松
高塚地内の旧北陸街道沿い海側にあるクロマツが門松で、江戸時代に植えられた往還松です。慶長6年(1601)、加賀藩が街道へ松を植えるように指示を出したことに始まるとされ、街道沿いには1町(約109m)ごとに路程の目安となる大きな松が植えられ、この門松もその一つといわれています。かつては道の反対側にアカマツがあり、2本で門の形をなしていたことが名前の由来で、夫婦松(女男松)とも呼ばれていました。
- ◆明治天皇追分小休所
明治天皇は明治11年(1878)北陸・東海地方を巡幸し、9月30日には現在の滑川市域を通過されました。前日の宿泊地・魚津を出立し、追分村で休息して立山連峰を眺められましたが、雲のため見えなかったと当時の新聞は報じています。早月川には仮橋が架けられ、一行を迎えるために付近の村々はもちろん山手方面からも人が押し寄せ、沿道の家の軒下には座席用の藁(むしろ)が敷かれていたそうです。